

コミュニティ・スクールだより

第45号



名張市教育委員会事務局発行 令和6(2024)年10月18日

コミュニティ・スクールの取組を通して 成長する子どもたち

コミュニティ・スクール(以下、CS)は学校と地域をとりまく課題解決のための仕組みです。学校や子どもたち、地域が抱える様々な課題について地域全体で解決を図る必要性があります。学校と地域が課題や目標を共有し、協議が進められている各校のCSの様子をお伝えします。当事者意識をもって地域や保護者が学校運営に参画することで取組が活性化し、子どもたちの成長や変容を促しています。また、放課後子ども教室などの地域学校協働活動と一体的に推進することでさらに効果的な取組となっています。

子どもたちの課題を三者で共有して

百合が丘小学校では、めざす子ども像に具体的に迫る取組を進めています。6月に行われた第2回の学校運営協議会(以下、学運協)では、子どもたちの朝食摂取の課題が取り上げられました。「なんか朝から元気ないねんな～」と登下校の見守りを通じて、また教室の子どもの様子を見て、委員の皆さんから心配であるという声があります。

学校からも「朝食を全く食べない割合が全国よりも高いのが心配」と話が出ます。「今、何かできることはないか」とグループで熟議を行いました。一回の熟議で簡単に解決策は出ませんが、委員一人ひとりが課題意識をもって、継続して考えていくこと、そして次回も熟議をもつことを確認しました。また、この日は高学年の学習として、人権講演会が行われました。学運協委員の皆さんも一緒に講演会と、グループでの話し合いに参加しました。意見を交わす子どもたちの様子にも感心したという声があがり、

赤目中学校区の小中一貫教育の柱である人権学習の取組を知る有意義な機会となりました。

子どもと関わり、子どもを見つめ、学校・家庭・地域が現状や課題を共有することが子どもたちの成長につながっていくすばらしい実践です。地域で何ができるのか、保護者は何をしなければならないのかなど考える機会となりました。



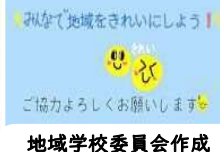
子どもたちとのいい時間



北中学校では地域ぐるみで子どもたちの学びを支えようと、学運協の学校支援部会が立案、実施した夏休みの学習会。夏休みの後半に企画されたこの学習会は、学運協委員の皆さんをはじめ、地域の方が学校に入り、子どもたちに関わってくださいました。

毎日たくさんの生徒が参加して、学習のサポートだけでなく、地域の方と交流できる素敵な時間になりました。

地域学校委員会



桔梗が丘小学校では地域学校委員会という委員会活動があります。子どもたちが自ら地域のためにできることを考え、校内や校区に広げていこうとがんばっています。子どもたちが地域をきれいにしたいと計画した内容が学運協の議題に出され、学校と地域の合同清掃活動が実現しました。

子どもたちの考えを取り入れ、地域と学校をつないだ取組は大成功でした。

CS×放課後子ども教室+放課後児童クラブ=😊

夏休みのある日、箕曲小学校の図書室から楽しそうな子どもたちの声が聞こえてきました。箕曲地域の放課後子ども教室「はなももクラブ」の「自分でおにぎりをつくってみよう!」です。箕曲小CSの取組で米づくりは有名ですが、今回は学運協での熟議を通じて、「子どもでも簡単なお飯が作れるように」という食育を目的として行われました。

学運協の委員でもある「はなももクラブ」代表の福田さんをはじめ、地域の方の力も借りながら取り組んだこの教室には、放課後児童クラブ「みのわっこクラブ」の子どもたちもたくさん参加しました。

地域と学校とが一体となって食育の推進を図る良い機会となり、またCSと地域学校協働活動が一体的に推進された好事例です。



★第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会講演会を

開催します★

日時: 11月13日(水) 10:00~11:45 場所: 教育センター2階 大研修室

講師: 文部科学省CSマイスター 鈴木 廣志さん

演題: 「コミュニティ・スクールの可能性」～学校運営協議会の役割とは～